

令和 4 年

奥州市教育委員会会議録

第 4 回定例会 4 月 25 日招集

奥州市教育委員会

1 開会、閉会等に関する事項

開催日時 開会 令和4年4月25日（月）午後3時
閉会 令和4年4月25日（月）午後4時20分
開催場所 江刺総合支所 4階 特別会議室

2 出席委員の氏名

1番	高橋勝	教育長
2番	吉田政	委員（教育長職務代理者）
3番	高橋キエ	委員
4番	及川憲太郎	委員
5番	藤田登茂子	委員

3 説明のため出席した職員の職及び氏名

浦川彰教育部長、松戸昭彦教育総務課長、佐藤克洋学校教育課長、菊池長学校教育課主幹、鈴木常義歴史遺産課長、千葉学協働まちづくり部生涯学習スポーツ課長

事務職員出席者：千田俊輔教育総務課長補佐

4 本日の会議に付した事件（議事日程第1号）

第1 会期の決定

第2 教育長報告 (1) 奥州市教育委員会の所管に属する附属機関の令和3年度下半期における審議等の状況について
(2) 令和4年度小・中学校学級編制について
(3) 令和4年度幼稚園学級編制について
(4) 令和4年度教職員定期人事異動について
(5) 生徒指導について
(6) 令和4年度以降の成人式の名称について

第3 議案第1号 奥州市奨学生選考委員会委員の委嘱に関し議決を求めることについて

第4 議案第2号 奥州市社会教育委員の委嘱に関し議決を求めることについて

第5 協議事項 令和4年度教育行政方針（案）について

5 会議の概要

会議に先立ち、部課長等の紹介及び挨拶

開会、会議成立宣言、本日の会議日程について「議事日程第1号」により進めることを宣言、秘密会とする議決（教育長報告「(5) 生徒指導について」）、秘密会とした教育長報告「(5) 生徒指導について」は、学校ごと又は児童生徒の個々の状況に関わらない部分のみを公表することの議決、議案の審議

第1 会期の決定について

本日1日と決定

第2 教育長報告

(1) 奥州市教育委員会の所管に属する附属機関の令和3年度下半期における審議等の状況について

浦川教育部長が資料に基づき一括して説明

【要旨】

- ・ 令和3年度上半期の状況については、昨年10月の定例会において報告しているが、今回の報告は、同年度下半期における各附属機関の審議内容等についてお知らせするものであり、付議案件及び審議の状況や会議における提言の概要について、資料に示したとおり報告するもの。

【質疑等】

高橋委員：奥州市文化財保護審議会の審議等の結果において、角塚保存活用計画について出た意見の内容をお聞きしたい。また、この計画は水路の補修整備に向けて策定するものと伺っていたが、今後の整備スケジュールをお聞きしたい。

鈴木歴史遺産課長：角塚保存活用計画については、地域の方々に親しまれるような活用をしてほしいという意見があった。具体的な整備計画はなく、水路改修の手続きの手法が主な内容となっている。従前の計画では、大きく角塚古墳を迂回しての整備となっていたが、現状に合わないということで国道を生かした形での整備を進めている。当初は、令和3年度に計画策定する予定であったが、周辺の圃場整備の関係で遺跡の発掘があり、新たに埴輪等が出たことから事業を令和4年度まで繰り越すことで計画している。保存計画は、お盆ごろを目途に国に進達し、秋口に着手したいと考えている。具体的なスケジュールの決定にはもう少し時間が必要だが、文化庁、県、市で工法等について現地で話をしている。

高橋委員：水路については、ここ2年の大雪でかなり壊れているので、冬前に整備が行われることを願います。

鈴木歴史遺産課長：頑張りたい。

及川委員：奥州市立図書館協議会の審議等の結果について、職員の人員バランスを考慮してほしいとあるが、実情をお聞きしたい。

千葉生涯学習スポーツ課長：水沢図書館は貸出冊数が多いが、江刺図書館は、ICタグを使って貸出図書の管理をしていたこともあり人数を絞っていた経過がある。そういったことでバランスが悪いのではないかと指摘であった。昨年度は水沢図書館の分室を廃止するなど順次見直しをしており、実態に応じた形でよりよい体制にしたいと考えている。

「(2) 令和4年度小・中学校学級編制について」から「(4) 令和4年度教職員定期人事異動について」まで、佐藤学校教育課長が資料に基づき一括して説明。

【要旨】

(2) 令和4年度小・中学校学級編制について

- ・ 資料No.1 の 7 ページが小学校の総括表である。
- ・ 小学校の学級編制について。4 月 4 日現在の児童数の合計は5,178人で、昨年度から90人減っている。今年度の羽田小学校の児童数が99人であり、同じ規模の学校 1 つ分の人数が減ったことになる。子どもの数の減少の傾向は、今後も続くものと思われる。
- ・ 単式の学級数が198学級で、昨年度に比べて 2 学級減となった。今年度、単式学級は、国の基準で 1・2・3 年生が35人学級、4・5・6 年生が国の基準は40人学級だが、県の基準で35人学級となっている。児童数そのものの減少により、学級数も減少となった。
- ・ 複式学級は 9 校に21学級で昨年度から 3 学級増となっている。この 9 校に対し、県から小規模校支援のための常勤講師を木細工小学校に配置、複式指導加配として 6 校にそれぞれ配置されている。この複式加配は昨年度から県単費で行うものになり、複式解消として市が単独授業をできることから、学校として非常に使いやすい状況になり、複式を解消して授業を進めることができる加配となっている。30人を超える学級に加配される、すこやかサポートは 2 校、佐倉河、江刺愛宕に配置され、昨年度から 1 校減となった。国の財政も厳しく、加配が減ってきているのが現状である。その他、市費負担支援員として小集団指導対応を大きい学校と広瀬小学校に配置している。県は14人から複式解消のための加配をするが、広瀬小学校は13人のため、市費で配置している。
- ・ 特別支援学級の数54学級で、昨年度より 1 学級増えている。対象児童の卒業により廃止となった学級が 5 学級、新設が 5 学級で、1 学級の増は、単純に対象児童数が増加したものである。全体の児童数が減少している中、特別支援学級の児童数は増えている。その割合は、昨年度2.9%に対し今年度は3.5%となっている。今年度、新入生に医療的ケア児 2 人が入学している。この 2 人に対し、看護師免許所有者を特別支援教育の支援員として採用している。支援員は、昨年度からこの 2 人を増やして15校に対し38人を配置している。

資料No.1 の 9 ページが中学校の総括表である。

- ・ 生徒数の総計は、2,776人で、昨年度の2,885人から109人の減とかなりの減少となっている。単式の学級数は、89学級で昨年度の93学級から 4 学級の減となっている。統合した江刺第一中学校が644人であり、次いで水沢南中の552人となっており、最小は衣川中の90人となっている。
- ・ 特別支援学級の数19学級で、昨年度より 3 学級の減となっている。内訳は、対象生徒の卒業による学級減が 1 校に対し、新設が 2 校、江刺南と江刺東の閉校により 4 学級が減となったことから合計で 3 学級減となっている。特別支援学級の生徒数は63人で生徒数全体に占める割合は約2.3%となっており、0.1ポイントほど昨年度より減った。市としては、小学校同様、特別支援教育支援員を 5 校に 8 人配置している。

(3) 令和 4 年度幼稚園学級編制について

- ・ 資料は、本日配付した差替版の資料である。

- ・ 公立幼稚園の状況については、平成29年度から入園児が減少している。令和3年度116人に対し、令和4年度は、96人で20人の減少となっている。3つの認定こども園でも14人減少している。幼稚園、認定こども園合わせて34人の減少となっている。学級編制は、佐倉河幼稚園、羽田幼稚園、岩谷堂幼稚園、若柳幼稚園が複式編制となっており、かなり児童数が減少している。

(4) 令和4年度教職員定期人事異動について

- ・ 資料は11ページである。
- ・ 退職者数は36人で、昨年度の31人より5人の増。2の異動者数は、(1)奥州市内の異動が52人、昨年度は38人で14人の増と昨年よりは多いが、例年並みとなっている。(2)の他市町村への異動は85人で、昨年度の73人から13人の増となった。増加した要因の1つとして、地区経験の未充足を補うための異動が多かったことが挙げられる。(4)の他市町村からの異動、転入は63人で、昨年度と同数となった。校長・副校長の転入が合わせて22人と多いのが特徴と言える。新規採用数は19人で、近年においては少ない人数である。中学校の統合の影響によるもので、中学校は4人の新規採用である。3の管理職等への昇任は、校長に7人、副校長に5人、主幹教諭に3人の合計15人の昇任があった。昨年なかった校長昇任分が増加したものとなっている。以上により、全体の異動総数は255人で、昨年度に比べ25人の増となった。退職を含めた「出」が121人、新採用を含めた「入り」が82人で、教員数は昨年度より39人の減となっている。これは、学校統廃合の動きによるもので、小学校は今後の統合を見据え、現在欠員講師を多く任用している状況である。令和5年度末の統合終了時においては、教職員の異動は落ち着くものと考えている。

【質疑等】

吉田委員：奥州市は、これから学校が減り、教職員が余るのではという感じもあるが、全国の動向を見ると教員が2,000人以上足りないと言われている。奥州市は予定どおりに教職員を配置できたのかお聞きしたい。

佐藤学校教育課長：予定どおりではある。ただ、今後の統廃合を見据えて各学校に欠員講師が1人ぐらい入っている。来年、小学校が6校統合することで、その分の教員数を一気に振り分けなければならないときに全部の学校の1人ずつ空いているところに回すイメージで配置している。また、加配等も全ての学校に入れることができている。中学校については、人がいればあと3つ入る予定があったが残念ながら人が見つからず、3人の加配分は取り下げられてしまった。

吉田委員：教科担任制との兼ね合いで人数だけでなく教科の配置も考えなければならず、大変だと思うが、どうなっているか。

佐藤学校教育課長：予定では今年度から小学校の教科担任制の充実を図るため加配されるイメージだったが、蓋を開けてみると思ったほど教科担任制による加配がなかった。また、加配されても再任用の短時間の先生の運用枠として入ったために、学校で自由に、例えば理科の得意な先生が理科を教えるこ

とができない状況になっている。本人の得意分野ではないところに入っている先生もあり、学校としても使いづらく、本人としてもやりづらいという矛盾が出ており、来年度以降何とか是正するよう県にお願いしている。

吉田委員：人数だけでなく、細かいところまで考えなければならず、大変だと思う。

教育長：統合のため本採用を配置できず、講師をたくさん充てている。統合が進むと今より採用しなくて済むが、講師が足りない状況が生まれている。特に中学校は教科が合わないため人が足りない。統合が進むと逆に本採用が余る状況が生まれてくることも考えられる。

高橋委員：今年度、医療的ケア児が2人だが、看護師資格のある支援員の配置は、1人につき1人なのか。また、2人は別な学校の児童なのか。

佐藤学校教育課長：水沢南小学校と常盤小学校にそれぞれ1人ずつ配置している。

高橋委員：支援員の都合が悪い場合に補充する体制はあるのか。

佐藤学校教育課長：補充の支援員はいない。基本的に保護者が学校に来て対応することで保護者と連携を取って確認している。

高橋委員：若柳幼稚園の3歳児が0人だが、閉園に向けて募集しなかったのか、入ってこなかったのか。

菊池学校教育課主幹：募集したが、入ってこなかったものである。

(5) 生徒指導について

※ 説明要旨及び質疑等の内容は非公開

(6) 令和4年度以降の成人式の名称について

詳細について、千葉生涯学習スポーツ課長が資料に基づき説明

【要旨】

- ・ 事前配布資料P.17のとおり説明

【質疑等】

なし

以上で教育長報告を終わる。

第3 議案第1号 奥州市奨学生選考委員会委員の委嘱に関し議決を求めることについて

松戸教育総務課長が議案を朗読、浦川教育部長が提案理由を説明し、補足説明を松戸教育総務課長が行った。

【提案理由】

- ・ 令和4年5月11日をもって任期が満了となる奥州市奨学生選考委員会委員の後任の委員を委嘱しようとするもの。

【補足説明】

- ・ 現委員の選出団体等に対し後任の推薦依頼を行い、推薦された者を委嘱しようとするもの。

【質疑等】

なし

討論なし

採決の結果、原案のとおり承認することに全員異議なし

原案可決

第4 議案第2号 奥州市社会教育委員の委嘱に関し議決を求めることについて

松戸教育総務課長が議案を朗読、浦川教育部長が提案理由を説明し、補足説明を千葉生涯学習スポーツ課長が行った。

【提案理由】

- ・ 令和4年5月11日をもって任期が満了となる奥州市社会教育委員の後任の委員を委嘱しようとするもの。

【補足説明】

- ・ 奥州市社会教育委員に関する条例第2条に定める委嘱の基準に基づき、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者について、関係団体に選出を依頼し、それぞれから報告のあった者を委嘱しようとするもの。

【質疑等】

吉田委員：松本圭さんは、女性ではないか。

千葉生涯学習スポーツ課長：訂正をお願いする。

討論なし

採決の結果、原案のとおり承認することに全員異議なし

原案可決

第5 令和4年度教育行政方針（案）について

浦川教育部長が協議事項を説明し、各担当課長等が方針内容を説明

【要旨】 本案は、教育委員会が所管する令和4年度の重点事項や主要課題について検討し市総合計画の大綱に沿って作成した内容について、協議をお願いするもの。市長の施政方針演述が、必ずしも全分野を網羅するものではなく、令和4年度における市政運営の基本姿勢、市の重要施策の方向性等について述べることとなることから、教育行政方針についても同様の構成となっている。本案に、重点事項、主要課題として是非掲載してほしい項目等があれば、御意見を頂戴したい。本日いただいた御意見等を踏まえて調整し、市長の施政方針との整合性を図った上で最終的な決定としたい。

内容については、基本施策の分野ごとに各担当課長が説明

【質疑等】

なし

- ※ 本定例会後に本案に対する御意見等がある場合は、教育総務課へ報告いただくこととした。
- ※ 市長の施政方針等を踏まえた最終調整は、高橋教育長への委任事項とすることについて、委員全員が同意した。
- ※ 令和４年度教育行政方針は、令和４年６月３日招集予定の令和４年第２回市議会定例会において発言することを報告した。

閉会